

民主

PRESS MINSHU

2008年7月(3)

号外

定価200円(消費税込み)
年間購読料3000円(送料含む)

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

神奈川県第5区総支部版
総支部代表 田中慶秋

マグロが食べられない!



漁に出れば出るほど
赤字が膨らんで、原油の高騰は
死活問題なんです。困ったな!



● どうしてマグロ、イカが食べられなくなるの?

全国の漁業団体が7月15日、いっせいに休漁に踏み切りました。国内の漁船、約20万隻の大半が動かなくなり、地元神奈川県でも約3500隻が休漁に入ったのです。これでマグロ、イカ、さばといった鮮魚が品薄になって、お寿司屋さんや家庭の食卓に影響がでているのです。

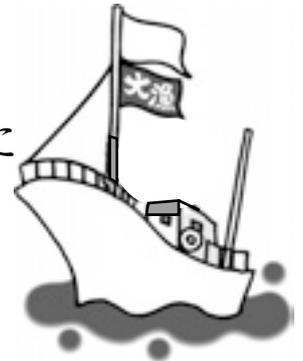
● いっせい休漁したのはなぜ?

世界的な原油の高騰で漁船の燃料代が4年半前に比べて約3倍に跳ね上がってしまいました。燃料費の負担が重くのし掛かる現状を政府と国民にわかってもらうためにいっせい休漁したのです。

● 燃料を安くできないの?

今、燃料の原油は投機の対象となって異常な高値をつけ続けています。アメリカで起きた低所得者向けの住宅ローンの破たんが引きがねとなって、投機資金が原油市場に流れ込んでいるからです。原油の高騰で食料品はじめ生活用品の値上がりがとまりません。

巨万の富をひとりじめする不当な投機にはブレーキを掛ける必要があります。高騰する価格を抑えるには、例えば投機目的の資金に透明性をもたせ監視態勢をとる、課税を強化するなど何らかの規制枠を設ける。備蓄してある原油を一時的に放出するのも一つの方法です。最も即効的なのはガソリンの暫定税率を廃止して、燃料を安くすることです。そうすれば、暮らしの負担も軽くすることができるのです。





**景気は急速に悪化しています。
景気 経済は鮮魚と同じく生きものです。
政府は国民の暮らし最優先で
取り組んでいくべきです。**



● **このままで景気はどうなるの？**

とても難しい問題ですが、何もしないよりはあらゆる手立てを尽くすことが肝心です。ところが、政府は国民がこんなに困っているのに、何の景気対策も打ちださず、福田総理にいたっては「原油が高騰し物価が上がることは仕方ない」と、取りつく島もありません。まったく無責任な対応です。総理の政治は国民の目線にたっていないのです。

企業倒産が6年ぶりの増加となってしまいました。株価も下落しています。正社員の雇用も不安定です。景気減速の中でこのまま成りゆき任せで原油の高騰が続けば、さらに物価高となり日本経済は立ち行かなくなってしまうのです。

今の政府、自民党の政策は役人のムダ遣いを棚に上げ、年金も医療も国民に負担を強いるものばかりです。このまま増税を続けていけば国民はおカネを使わなくなり消費活動の停滞が、さらに景気を悪くする悪循環に陥ってしまうのです。景気対策に一刻の猶予もありません。

**私たちも
改革にチャレンジ**

地域を変え日本を変える原動力

【戸塚】



戸塚区議会議員
そがべく美子



戸塚区議会議員
北井宏昭

【泉】



泉区議会議員
松本 清



泉区市議会議員
松本さとし

【瀬谷】



瀬谷区議会議員
平本さとし



参議院議員
牧山ひろえ



戸塚区市議会議員
内田しげお



戸塚区市議会議員
星野くにかず



戸塚区市議会議員
川辺よし男



泉区市議会議員
中島けんご



瀬谷区市議会議員
花上きよし



参議院議員
水戸まさし

あなたの町の国会、県会、市議会議員です。